

日本風景街道だより

2009年 春号

シリーズ: 各地域の風景街道の取り組み

のしろ白神の道 (東北風景街道協議会)

1. はじめに

東北風景街道協議会は、東北の美しい原風景や豊かな地域資源を活かし、道路を舞台に魅力的な地域づくりを支援しようと、平成19年9月6日に発足しました。

その後、協議会では風景街道としての個々の活動を支援するため、地域住民、NPO、地方自治体などと道路管理者が一体となって活動を行う主体として組織する、風景街道パートナーシップの募集を行い、平成19年12月に14団体(うち、1団体は北陸風景街道協議会と連携登録)、平成20年12月に新たに3団体を登録し、現在17パートナーシップにより活動を実施しております。

今回の「日本風景街道だより」では、これらの中から「東北-第1号 のしろ白神の道」を紹介いたします。

2. のしろ白神ネットワークと「のしろ白神の道」

のしろ白神ネットワークは、地道な活動を展開してきた5団体と行政・企業・大学などの活動支援団体を含め、平成18年4月に設立しました(図-1)。各団体の相互交流や連携を通じて、秋田杉や地域資源を活用したものづくり、まちなか美化活動、中心市街地活性化イベントの開催等、自分たちのできることから取り組み、環境や景観に配慮した「木」のまちづくりを進めています。東北風景街道への申請にあたり、道路管理者とパートナーシップを結びました。

「のしろ白神の道」は国道7号や101号、林道米代線を含む総延長約100kmのルートです。このエリアでは、秋田杉や黒松といった針葉樹だけでなく、四季折々に表情を変える広葉樹も多く目にすることができます(写真①~②)、そうした自然景観ばかりでなく、市民に「木のまち」を身近に感じてもらえるような場を設けながら、新たな技術や研究成果を活用した「木の香る道」づくりも目指しています。そうした取り組み事例を2つご紹介します。

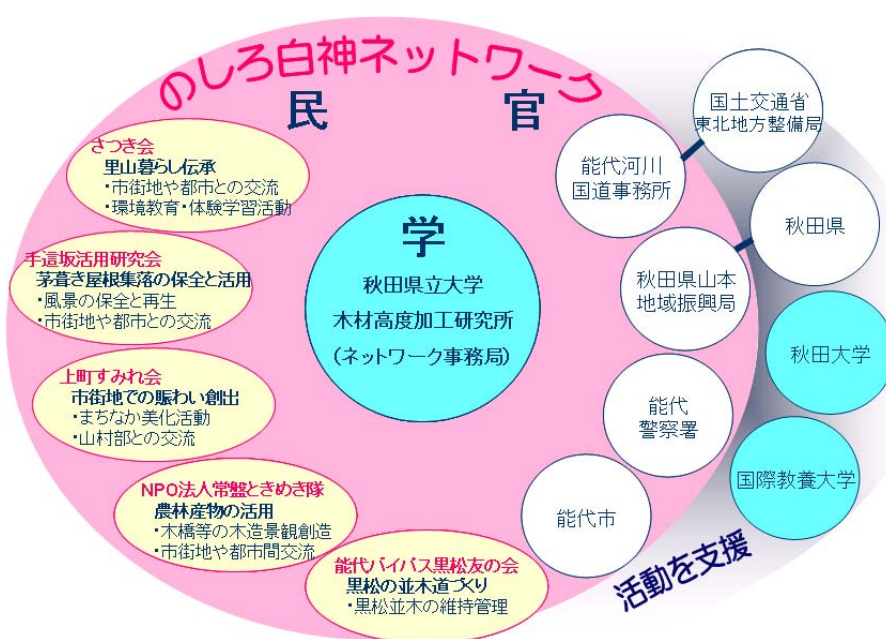


図-1 のしろ白神ネットワーク



写真①
黒松の街道



写真②
新緑の里山

●のしろまち灯り（写真③）

今年度で3回目となりましたが、子どもたちと廃食用油から作ったろうそくを杉の間伐廃材を利用したろうそく台に入れて600個沿道に並べ、夜のまちなかで点灯。中心市街地の空き店舗を拠点に、甘酒や焼き鳥・産直野菜等の販売も行い、人通りの少なくなりがちな冬季のにぎわいづくりをしています。



写真③
ろうそく作りに参加した子どもたちと点灯

●木の香る道の提案（写真④～⑥）

地元の方々や大学と協働で郊外の公園内に木橋を架けたり、遊歩道のウッドチップ舗装を行っています。また、イベント時には多くの方に関心を持っていただけるよう、会場の一角に木製のストリートファニチャーを展示しています。



写真④
集成材の木橋と共有林の杉を使った遊歩道



写真⑤
秋田杉集成材と鋼材のハイブリッドガードレール



写真⑥
秋田杉で作った塀やベンチで空き店舗を演出

3. おわりに

東北風景街道協議会では、それぞれのパートナーシップの特色を活かしながら、自立に向けた色々な支援を行っております。

3月10日に開催されたステップアップセミナーでは、北海道シーニックバイウェイ支援センターのかとうけいこ広報部長から、「地域活動を楽しく継続させる方法」と題して、北海道における活動事例や活動継続についてのノウハウについて講演していただきました。

また、東京大学アジア生物資源環境研究センターの堀繁教授からは、「地域を元気にする資源の使い方～『あるもの活かし』でかせぐ方法～」と題して、「資源とは何か」、「資源を活かして稼ぐには?」、「儲けのメカニズム」をキーワードとして、会場と一体となったフリートークセミナーを行い、大変盛況でした。

その後、そのままの勢いで臨んだ交流会では、言うまでもなく非常に活発な情報交換が行われ、次回セミナーの早期開催を望む声も多く聞かれました。

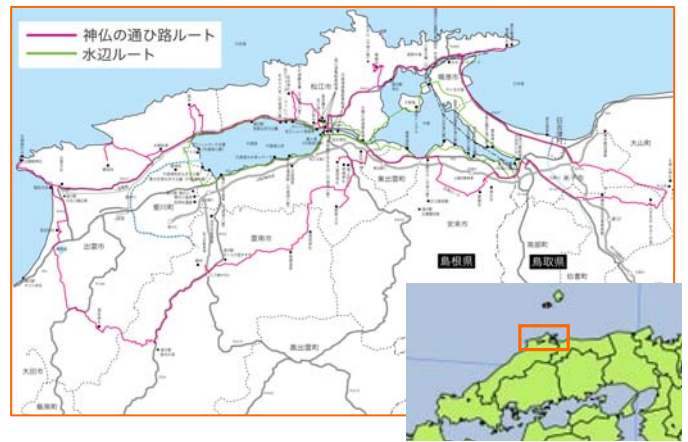
これらの模様や内容については、今後機会があれば紹介して参りたいと考えております。

人間文化の原風景～ご縁をつなぐ神仏の通ひ路～

(中国地方風景街道協議会)

1. ルートの概要

ルート圏域は、島根・鳥取両県にまたがる宍道湖・中海・大山圏域であり、出雲國神仏霊場20社寺を巡る「神仏の通ひ路ルート」と、宍道湖・中海を8の字で巡る「水辺ルート」を基本ルートとしています。本圏域には、出雲國風土記冒頭を飾る「国引神話」の舞台となった、宍道湖・中海・日本海の水辺と大山の山並が共存し、出雲國風土記に記載のある古い社寺や地名とともに人間文化の原風景を共有しています。



2. 推進組織

活動の中心には「レーク街道推進会議」があり、パートナーシップのメンバーには、松江商工会議所と28のNPO等の各種地域づくり団体、及び15の道路管理者・自治体が参加しています。地域づくり団体には、「夢街道ルネサンス」の認定地区(※1)も含んでおり、各地域で個別事業を推進しています。

(※1:平成13年度から中国地方独自で展開している地域づくり活動。現在、中国地方全体で25地区を認定)

3. 風景を楽しんでもらう活動を通して

レーク街道推進会議では、平成18年モデルルート登録から、景観調査や景観スポットでのオープンカフェ、マップコードを利用した圏域周遊支援、地域資源の発掘・開発を行ってきました。県境を越えた広範囲ながら、連携を図り地域資源の繋がりが広がったのは、継続して来た“景観を楽しんでもらう活動”があったからです。

■レーク街道カフェ(平成19年度～)

風景の良い場所にオープンカフェを設置し、その背景にある出雲神話などに思いを馳せながらくつろげる機会を提供しようと、平成19年度から神仏の通ひ路メインプロジェクトとして継続的に行っています。神在月(※2)を含む9月から10月の週末に、平成19年度は9箇所10回、平成20年度は島根県立美術館傍の夕日が望める場所で5回開催しました。また、カフェカウンターやパラソルなどをパートナーシップメンバーに貸し出し、それぞれの活動でも活用いただいております。今後も継続する予定です。

(※2:出雲地方では、全国の神様が集まる旧暦10月を「神在月」と呼びます。全国では逆に「神無月」)



宍道湖夕日スポット



岸公園

■ 神仏霊場ブランド創出事業(平成 19 年度)

出雲國神仏霊場の社寺と、地元の伝統工芸技術を持つ「匠」の技をマッチングさせ、本圏域ならではの新商品を開発しました。9社寺、10人の匠により、17の新商品が生み出されました。また、地元観光業者と連携し、出雲國神仏霊場を巡る1泊2日のツアー商品も開発しています。



抹茶茶碗

行燈

■ 情報提供の取り組み(平成 19 年度～)

平成 19 年度に「まちめぐりナビプロジェクト」に取り組み、マップコードを活用した周遊支援の仕組みを構築し、その有用性を検証しました。また、景観スポット 35ヶ所にQRコード付風景案内板を設置し、QRコードから周辺地域情報が入手できる仕組みとしました。平成 20 年度は、この仕組みをさらに進化させるため、圏域内観光施設等に訪問者の情報入手の入口となるQRコードの恒久設置を進めています。将来的には、QRコードスタンプラリーなど、情報提供と合わせた周遊促進の取組を行うこととしています。



マップコードを記載した圏域マップ



QRコード付風景案内板

景観スポットへの案内板設置(鍵掛峠)

■ 研究会の開催(平成 20 年度)

平成 21 年 3 月 19 日、風景街道の格付けに向けた機運の醸成を図るとともに、広域連携の推進について考えるため、関係者が集まり研究会を開催しました。松江高専村上准教授の観光周遊行動調査結果発表をもとにパネルディスカッションなどを行い、今後の広域での観光連携を考えるうえで大変有意義な研究会となりました。

ご縁をつなぐ神仏の通ひ路研究会



4. 今後の展開

今後は、本圏域を中心に進んでいる“観光圏としての取組”にも動きを合わせた活動展開を考慮しながら、これまで実施してきた情報提供の仕組みの充実など、さらなる取組を推進することとしています。

<http://furusato.sanin.jp/kaidou/>

日本風景街道と日本自動車連盟(JAF)との連携

日本自動車連盟(JAF)がホームページ上で展開している「JAFナビ(おすすめドライブコース)」において、全国の風景街道をコンテンツとして活用したドライブコースを作成・掲載することで日本風景街道の周知促進を図ると共に自動車を活用した旅行需要の拡大を目指す取組みを開始しました。

(1) おすすめドライブコース

第1次リリースとして風景街道をベースに下記の6地区31コースを作成いたしました。今後も全国の風景街道を対象に拡充していく予定です。

各ドライブコースでは風景街道に点在する魅力的な地域資源を廻り、個性豊かな地域をお楽しみいただけます。

エリア		おすすめドライブコース (風景街道の名称)
地方	都道府県	
北海道	札幌	支笏洞爺ニセコルート
	札幌	支笏洞爺ニセコルート2
	札幌	支笏洞爺ニセコルート3
	旭川	大雪・富良野ルート
	北見	東オホーツクシーニックバイウェイ
	旭川	宗谷シーニックバイウェイ
	釧路	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
	函館	函館・大沼・噴火湾ルート
東北	旭川	萌える天北オロロンルート
	秋田	のしろ白神の道
	山形	みちのくおとぎ街道
北陸	秋田	菅江真澄と巡るあきたの道
	岩手	忘れられた道造りの歴史と絶景を「江戸の旅日記から感じる道」
中部	石川	金沢城下 野町・弥生誘い街道
	石川	奥能登絶景海道
	富山	飛越交流ふり・ノーベル出世街道
近畿	三重	日本風景街道「伊勢熊野みち」
	愛知	新しきからなつかしき塩の道～中馬街道～
	岐阜	飛騨地域風景街道
	愛知	渥美半島菜の花浪漫街道
中国	岐阜	美濃白川 四季彩街道
	三重	日本風景街道伊勢街道
	福井	若狭熊川・鯖街道
中国	福井	三国湊のまち・海・緑そして人を結ぶみち
	広島	R185みちばた会議
	山口	歴史街道「萩往還」
	島根	人間文化の原風景～ご縁をつなぐ神仏の通い路～
	山口	本州最西端の道「風波のクロスロード」
中国	広島	しまなみ風景街道
	鳥取	大山遠望歴史の道
	島根	風待ち海道～隠岐まるごとミュージアム～

■おすすめドライブコース(31 ルート)

写真、コースマップ

走行ガイド、走行ルート

TOPページのデザイン

プレゼント企画

(2) ホームページでのご案内とプレゼント企画

作成した「おすすめドライブコース」は日本自動車連盟(JAF)のホームページに掲載されています。

<http://www.jaf.or.jp/dguide/roadscenes/index.htm>

また、いくつかのコースでは地域と連携したプレゼント企画も用意しました。

電話での申込や、コース上の施設へ印刷した走行ガイドを持参、又は直接JAF支部へ来店された方を対象に先着でプレゼントをお渡しする企画で、今後も拡充していく予定です。

風景街道地方協議会及び連絡窓口はこちらへ

風景街道の活動を積極的に支援するために、各風景街道地方協議会に連絡窓口を設置しております。

掲示板利用の登録や、日本風景街道に関するご相談等がございましたら、風景街道地方協議会の連絡窓口までご連絡下さい。

◆風景街道地方協議会の連絡窓口一覧

担当部署	担当者氏名	電話番号
シーニックバイウェイ北海道推進協議会 (北海道開発局 建設部 道路計画課 内)	五十嵐光徳	011-709-2311(代表) (内線 5357)
東北風景街道協議会 (東北地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	本木 雅信	022-225-2171(代表) (内線 4256)
風景街道関東地方協議会 (関東地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	川崎 浩之	048-601-3151(代表) (内線 4253)
北陸 風景街道協議会 (北陸地方整備局 道路部 道路計画課 内)	村下 剛	025-280-8880(代表) (内線 4213)
風景街道中部地方協議会 (中部地方整備局 道路部 計画調整課 内)	廣瀬 昌俊	052-953-8119(代表) (内線 4312)
近畿風景街道協議会 (近畿地方整備局 道路部 地域道路課 内)	竹井 賢二	06-6942-1141(代表) (内線 4612)
中国地方風景街道協議会 (中国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	角 秀俊	082-221-9231(代表) (内線 4613)
四国風景街道協議会 (四国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	助田 豊治	087-851-8061(代表) (内線 4612)
九州風景街道推進会議 (九州地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	中川 英一	092-471-6331(代表) (内線 4252)
沖縄地方風景街道協議会 (沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課 内)	崎間 斉	098-866-1914(代表) (内線 4353)

【ご意見お寄せください】

日本風景街道だよりは、地域の皆様へ様々な情報を提供することを目的に年4回程度発行する予定にしています。掲載内容などご意見・ご感想がございましたら、下記までお気軽にお寄せください。

日本風景街道だより

発行：国土交通省道路局地方道・環境課道路環境調査室
東京都千代田区霞が関2-1-3
TEL: 03-5253-8497 FAX: 03-5253-1622

<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>